

## 令和 3 年度事業報告

### 1、大阪府「大阪羽曳野線道路休憩施設」植栽一式

松原ジャンクションの下に(株)サンプラザを中心とした商業施設が開設され、併せて府が管理する道路休憩施設の周辺緑化を 3 年かけて完成させた。

(1,018 万円)

### 2、大阪府「府立体育会館」植栽一式

年間 81 万人の人が利用する大阪を代表するアリーナも竣工から 34 年が経過し、エントランスの植栽の枯損と老朽化が目立っていた。令和 2 年度の正面玄関植栽のリニューアルに続き、令和 3 年度は東側入り口の植栽を行った。(605 万円)

### 3、大阪府「万博記念公園桜の流れ」植栽一式

万国博覧会から 50 年を経過し、ソメイヨシノの樹勢が衰えてきた。そのため多くの来園者を楽しませてきた「桜の流れ」は桜を楽しむ状況になくなってきている。復活を図って令和 2 年度はソメイヨシノ 52 本を植栽し、令和 3 年度はさらに 28 本を増植して桜の公園にふさわしい景観を取り戻した。

(957 万円)

### 4、大阪府「住吉公園」植栽一式

住吉公園は日本の歴史公園 100 選にも選ばれている歴史ある公園だが、50 本ある桜が樹齢 50 年を超え枯損や老朽化が目立ち始めている。平成 28 年には桜 20 本を植え替え、令和 3 年度は汐掛道から桜広場へ続く道の倒木寸前の松を更新して景観を取り戻した。(288 万円)

### 5、大阪府「山田池公園」植栽一式

平成 30 年の風台風による倒木被害の後始末は完了したが、緑陰のない季節感のない広場になってしまった。洋風庭園にレッドロビン、オーストラリア庭園にミモザを植えて回遊式庭園を再生した。(484 万円)

### 6、大阪府「錦織公園」植栽一式

年間 70 万人が訪れる公園の見どころの一つとして「シャクナゲの谷」がある。シャクナゲの劣化が進んでいるため新たに 200 本の西洋シャクナゲを斜面に増植し散策を楽しめる景観を再現した。(515 万円)

- 7、大阪府「長野公園」植栽一式  
南河内三大名刹のひとつ河合寺に隣接した奥河内あじさい公園（総称長野公園のひとつ）に 450 株のアジサイを増殖し、お寺の参拝とハイキングを合わせ楽しんでもらえる公園として充実させた。（374 万円）
- 8、守口市「大枝公園」植栽一式  
昭和 27 年開設の大枝公園のリニューアル工事を平成 28 年に実施したが、平成 30 年の風台風で桜の枝折れなどの被害が大きく、桜 7 本を植え替えて桜並木の再生を図った。（145 万円）
- 9、交野市「星田駅前線」植栽一式  
JR 星田駅北側に新設する星田駅前線の歩道にサルスベリ 34 本、ヒラドツツジ 1849 本を植え、緑陰形成を図った。星田駅周辺は、流通センター、商業施設、居住施設を開発し、にぎわいのある地域の創出を目指している。（968 万円）
- 10、交野市「天野川緑地」植栽一式  
交野市は市の中央を流れる天野川の河川敷を利用した総延長 1.6 キロメートルの桜堤をさらに充実させるため、市制 50 周年を記念して改修を図っている。ライトアップ用電源施設や休憩施設の設置も同時進行し。3 年計画で 220 本の桜を植える。初年度令和 3 年は 81 本を植栽した。（941 万円）
- 11、熊取町「JR 熊取駅前夢広場」植栽一式  
JR 熊取駅に通じる町道と夢広場の街路樹の再生を図る。今までハナミズキを植えていたが生育が悪く、安全確保と景観の向上のためタイサンボク 15 本を植えた。（451 万円）
- 12、大阪市「鶴見緑地」植栽一式  
鶴見緑地は花と緑の博覧会から 30 年。2025 年の大阪万博ではサテライト会場として再び脚光を浴びようとしている。すでにカワヅザクラ、オカメザクラ、ヨウコウザクラがパークゴルフ場西側に集中的に植えられ、大池を囲むようにソメイヨシノが植えられ来園者に人気を博している。次の万博に向け、大池西側を中心にエドヒガン 17 本、クマノ桜 16 本、ヒトツバタゴ 10 本を植えて充実させた。（1218 万円）
- 13、大阪市「正連寺川公園」植栽一式  
正連寺川公園は 7 つのゾーンに分かれていて、そのうち 2 つのゾーンはすでに完成

し、R3年度は3つ目のゾーンに着手し、桜44本を中心ににぎわいの広場ゾーンが完成した。総延長2.5キロメートルの内、1キロメートルが6年がかりで完成した。  
(1903万円)

14、大阪市「平林小学校」植栽一式

校舎改築に伴い新しく整備されたグラウンド及び学習園にハナミズキ等26本の高木、ユキヤナギ等低木238本の植樹を行い、児童の学習環境の向上を図った。  
(374万円)

15、大阪市「喜連北小学校」植栽一式

プール改築により更地となった部分や、台風や虫害による倒木部分にハナミズキ等高木33本実のなる木、アジサイ等低木448本を植え、児童が身近に自然体験のできる場所を確保した。  
(380万円)

16、大阪市「晴明丘小学校」植栽一式

自然環境学習園と呼ばれている畑にレモン、八朔等樹種を追加することで、児童の教育環境の充実を図り、カシワバアジサイとヒラドツツジ317株で敷地外からの視線を遮る役目を果たした  
(300万円)

17、大阪市「巽公園」植栽一式

巽公園は昭和43年に開設された球技もできる多目的広場を併設した3.4haの公園で、未整備の隣接地を新たに公園に組み込んだ。しかし土壌が悪く、土壌改良で工事が2年遅れて令和元年完成の予定が令和3年になった。  
(1265万円)

以上 総合計 12,186万円